

第63巻 PDF 読本



和歌山市駅



難波駅



南海電鉄

2025年12月25日 歩く鉄道作家 横原 勉

<目次>

はじめに

第1章	高野線（高野下～北野田：営業キロ 34.9 km）	6
第2章	高野線（北野田～岸里玉出～難波：14.5 km）	25
	※岸里玉出～難波（3.9 km）は南海本線にて計上	
第3章	南海本線他	48
	南海本線（和歌山市～難波：64.2 km）	
	高野線（極楽橋～高野下：10.3 km）	
第4章	阪堺線他	134
	阪堺線（恵美須町～浜寺駅前：14.0 km）	
	上町線（天王寺駅前～住吉：5.9 km）	
	泉北線（中百舌鳥～和泉中央：14.3 km）	
	高野線（岸里玉出～汐見橋：4.6 km）	
	和歌山港線（和歌山市～和歌山港：2.8 km）	
	加太線（紀ノ川～加太：9.6 km）	
	多奈川線（みさき公園～多奈川：2.6 km）	
	高師浜線（羽衣～高師浜：1.4 km）	
	空港線（泉佐野～関西空港：8.8 km）	
	総営業キロ 187.9 km	

<南海電鉄（南海電気鉄道）>



はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」PDF 読本による旅日記です。

今回は、日本の私鉄で 4 番目の路線距離をもつ南海電鉄の旅（総営業キロ 187.9 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある樋原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 73 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2011 年 9 月～2025 年 12 月で踏破）

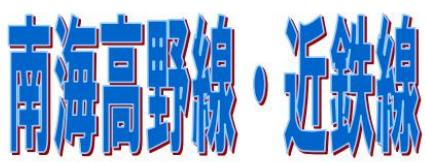
こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樺原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご覧頂けます。

第 39 編（日本横断歩き鉄の旅）



2021 年 12 月 30 日 歩く鉄道作家 樺原 勉

第 79 編（日本横断歩き鉄の旅）



2025 年 12 月 25 日 歩く鉄道作家 樺原 勉

第1章 高野線（高野下～北野田）

第1節 旅プラン

平成23年9月10日（土）、関西桜紫会が大阪駅前のホテルグランヴィア大阪（20階の鳳凰の間）で開催される。それに合わせ高野山のお参り、それからその沿線のウォーキングを急遽おもいつく。運良く9月11日（日）、12日（月）とも天気に恵まれる感じでこの企画に挑戦する。そのスケジュールは次の通り。

① 9月10日（土）

新横浜発7時2分（のぞみ201号）で新大阪へ（9時16分着）

関西桜紫会への出席、そしてその後2次会、3次会に出席。

東横イン新大阪新幹線口新館に泊まり。

② 9月11日（日）

高野山をお参り後、高野下＝林間田園都市間（14.3km）をウォーキング。

東横イン新大阪新幹線口新館に泊まり。

③ 9月12日（月）

林間田園都市＝北野田間（20.6km）をウォーキング。

新大阪発19時27分発（のぞみ256号）で新横浜へ（21時44分着）

13号車10番E席（乗車券8,190円、特急券5,340円）



関西桜紫会

第2節 1日目：9月10日（土）：関西同窓会 晴れ

朝4時過ぎに起床し、旅行の準備をする。本日は愛犬セブンの散歩は免除、かつ6時前に家内に中央林間まで送ってもらう。御蔭で中央林間で予定より早い1本早い電車に乗れる。新横浜駅には6時半頃到着。新横浜発7時2分のぞみで新大阪に向う。新幹線内でナンプレゲームを楽しむ。昨日からの難問がやっと解けほっとする。あつという間に2時間が過ぎ去る。新大阪駅で下車し、新幹線口にある東横イン新館に荷物を預ける。9時55分頃のJR線で大阪駅に向う。今年もホテルグランヴィア大阪に行くのに少し戸惑う。会場には10時15分頃到着。大塚会長、斎木副会長、杉本さん、水島さん、中村さん、山下さん、安治富さん、山本さん等、先日第43回わいわい会に参加いただいたメンバーにお礼と挨拶をする。10時45分、山下さん中村さんの司会で関西桜紫会の総会が始まる。佐賀大学名誉教授の田淵和雄先生（同窓）から「脳を守る」ミニトークが始まる。30分があつという間に過ぎ去る。その後楽しい懇親会がある。



関東桜紫会のメンバーでしゃべる機会を得たので、先日のわいわい会のお礼と将来の思い（日本版・英語版での道中記）を語らせて頂く。予定通り14時に閉幕となる。2次会は昨年同様、大阪フコク生命ビルの近くの阪急商店街にあるヤンカラで17時半頃までカラオケを楽しむ。全部で11名の出席あり。3次会は斎木さん、塩田さん、山本樫原の5名で20時位まで、ここ家で飲む。仕上げは新大阪駅の構内にある浪花そばで。

ロビーで鍵(610号室)をもらい、ほどよい疲れでバタンキュー。楽しい一日であった。



二次会



三次会



仕上げは浪花そば

第3節 2日目：9月11日（日）：高野下～林間田園都市 晴れ

高野下(13:46)～九度山(14:39)～学文路(かむろ、15:14)～紀伊清水(15:57)
～橋本(16:39)～御幸辻(17:35)～林間田園都市(18:10)

10年前に、ニューヨークで起きたテロの日、生まれて初めて高野山を訪れる。3時過

ぎに目が覚める。本日の計画を練る。当初は、橋本から和歌山まで行き、そこから阪和線を歩くことを考えていたが、時間等の関係から困難と分り、極楽橋または橋本からの南海電鉄の高野山線に挑戦することにする。早速、極楽橋から難波までの駅と駅間の営業キロをメモ帳に転記する。全部で極楽橋から難波までの営業キロは 63.8 km、駅数は 42 個であった。それ故、転記するのに手間を要した。全部歩くのには困難と思ったが、念のため全部の駅を転記することにした。



東横イン 西中島南方駅

4 時半頃ロビーに行き、パソコンで Ipod を充電する。同時にインターネットで南海電鉄の高野山について検索する。9月5日の台風の影響で、橋本=紀伊清水間が不通でバスでの代行を行っているとの記事であった。特急（リンカイ）は難波=橋本間の運行のみとあった。とりあえず、時間はかかるが予定通り高野山に行けるのでほっとする。6時頃部屋の戻り、シャワーと一服し、7時前にロビー朝食を摂る。ホテルを 7 時半頃出て、御堂筋線の西中島南方駅まで歩く。



7 時 48 分発中百舌鳥行きの電車に乗り、難波で下車後、南海電車の難波駅を目指す。南海なんば駅は立派なビルの 3 階にあった。運賃は地下鉄が 230 円、南海の高野山駅ま

でケーブルを含めて 1,230 円要した。運良く、8 時 12 分の橋本行きの急行電車が殆ど待ち時間なく乗れる。早朝目が覚めたこともあり、うとうとした車内となった。日曜日にもかかわらず、電車は割合すいていた。中学生が同一車両に乗っていた関係が、車内は相当賑やかであった。目が覚めたときには、中学生の姿はなかった。美加の台辺りから山間となる。橋本駅には 9 時 8 分頃到着。



橋本駅



紀伊清水駅

そこから臨時バスに乗る。駅前には数台のマイクロバスが停められていた。5 分位で 3.1 km 先の紀伊清水駅に到着する。9 時 20 分位の電車で極楽橋を目指す。2 両編成であった。学文路（かいいろ）、九度山、高野山下と続く。高野山下には 9 時 40 分到着。上り電車と離合する。この辺りまではほぼ道路に変更して国道 371 号が走っていた。下古沢（しもこさわ）、上古沢（かみこさわ）、紀伊細川、紀伊神谷、極楽橋と進むが、道路に並行した路は見当たらず。不安が募る。極楽橋駅には 10 時 5 分到着。10 時 13 分位のケーブルカー（赤色）で標高 867m ある高野山駅に向う。途中、離合する。駅員が坊さん姿で驚いた高野山駅には 10 時 18 分頃到着。ケーブルカーは先頭と末尾は 5m～10 m 位の高低差はあっただろう。



極楽橋駅





高野山駅

駅前で一日乗り放題のきっぷ（800円）を購入する。福家さんや高木さん等の助言を貰い、奥の院と墓道散策を中心に高野山をお参りすることにする。10時22分位のバスで奥の院まで向う。奥の院前には、10時42分到着。奥の院には老杉や桧が茂る中に、20万基超える墓や供養塔があるとのことであった。高野山の広さに驚く。この高野山には4,000人もの人が住んでいるとのことであった。来てよかったです。非常に価値ある一日になりそうであった。高野山内バスで奥の院まで行く。



バスで奥の院前まで



商店街が立ち並ぶ町の中心と思える薺萱（かるかや）堂前で半分位の人が下車する。そして玉川通経由で奥の院へ。終点の奥の院までは私を含め4名だった。奥の院前の南無大師遍照金剛前で愛知県から訪れたという年輩のグループの方に写真を撮ってもらう。杉並木を歩く。途中、報恩謝徳、子孫繁栄の描かれた石造前でデジカメを撮る。言葉が気に入ったからである。老杉496前で記念写真。大きな幹が上の方で3本に分かれている。「奥の院」、「一の橋」の看板前に10時52分到着。10時53分、芭蕉句碑前を通過。10時56分、豊臣家墓所前を通過。奥の院は脱帽で写真撮影は一切できず。



奥の院前



奥の院への路

11時頃、奥の院に到着。500円の祈祷料を払い、「家内安全、家庭円満」を記載し拝んでいただく。先祖供養の線香も立てる。地下にも出向きお参りする。奥の院を11時19分後にする。護摩堂と記載された御供所に立ち寄り、トイレ休憩。御廟（ごみよう）橋の下には清き沢が流れていた。高野山中之橋靈園の案内板前を11時35分通過。石田三成墓所（11時38分）通過。薩摩島津家、松下幸之助の寄贈石、紀州徳川家、武田信玄・勝頼墓所も通過。そして一の橋前に戻る。



護摩堂

12時、薺薈堂に立ち寄りお参りとお土産を購入。この密巖院は宿坊の施設があった。ここで坊さん風の従業員の方に写真を撮っていただく。数分世間話をする。この人の進めもあり、高野山内を散策する。高野山大学前（12時23分）等を散策。途中、高野町高野山（国道480）と記した前を12時27分通過。そして千手院橋へ。ここでバスに乗り、高野山駅へ。



薺薺堂



金剛峯寺

12時45分であった。極楽橋までの切符(380円)を購入。次のケーブルは13時4分。余り時間がなかったので、駅で菓子パンを購入し、昼食に代える。帰りもケーブルカーから見える風景を楽しむ。13時10分頃極楽橋の到着。ここから橋本まで歩こうと、駅員に相談したところ、「鉄道に沿った路はなく、不案内の方は無理です。歩くとしたら国道に沿った高野山下でしょう」との助言を頂き、急遽方針を変更。極楽橋から高野下までの切符(250円)を購入する。紀伊神谷を13時10分、紀伊細川13時25分、上古沢、下古沢(13時43分)、そして高野下駅には13時46頃到着。駅員さんにウォーキングガイドブックをもらい、橋本駅を目指しウォーキング。



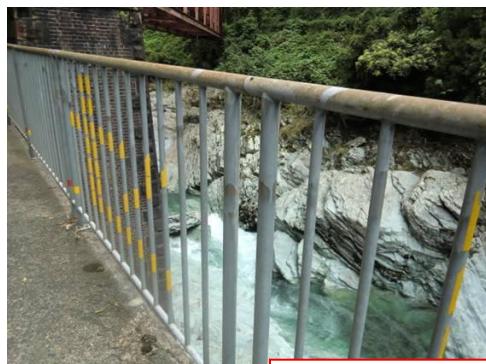
高野下駅へ



高野下駅



歩きは 13 時 52 分から開始。国道 24 号を歩く。黄色の赤瀬橋前を 14 時 8 分通過。14 時 14 分、前方頭上に南海電鉄がある。この鉄道を潜る。ここでデジカメを落とし、もう少しで川に落としそうになる。ヒヤッとする。高野山の神仏が守ってくれた。ありがたいことだ。



デジカメ危うし 九度山駅

本日最初の九度山駅には 14 時 39 分に到着。14 時 47 分、橋本市に入る。その先で下り電車（4 両編成）と対面。九度山は真田幸村・真田父子ゆかりの地と記した看板前を 14 時 50 分通過。九度山は柿の里とも記載した看板があった。15 時 14 分、学文路（かむろ）駅に到着。道路から 10m 位上がったところにあった。



九度山=真田幸村・真田父子ゆかりの地



学文路駅

15 時 31 分、国道 370（橋本市南馬場）通過。15 時 36 分、黃金色したい稻田前を通過。15 時 57 分、朝バスターミナル駅の紀伊清水駅に到着。バスに乗り込む乗客の場面であった。



紀伊清水駅



1

6 時 17 分、向副（むかぞい）に到着。この先で 460 歩ある橋本橋（きの川）を渡る。ここで川が逆流していた。橋本駅には 16 時 39 分到着。ここでまだ日が高いので、アップするか否か迷う。南海電車の駅員さんに御幸辻への道筋を聞き、最終的な判断することにする。とういうのは、ここから山間となるからである。結果挑戦することにする。駅前の風景をデジカメに収め、御幸辻駅を目指す。



橋本橋



橋本駅

高野山街道である花水木通りを歩く。JR 和歌山線（16 時 51 分）と高野山線を潜り抜ける。そして、鉄道の右側を歩く。17 時 10 分、国道と合流する。17 時 15 分、小田原に似た地名の小原田という交差点に到着。左には橋本川が流れていた。17 時 25 分、御幸辻の地名が出てきたので、通行人に聞く。丁度お伺いした時期がタイムリーであった。丁度この路地を概ね真っ直ぐ行けば御幸辻とのことであった。17 時 35 分に御幸辻駅に到着。



花水木通り



御幸辻駅

駅手前には沢山の提灯があり、「御幸辻だんじり」と記されていた。ここでアップするか迷うが、18 時前なので 2 km 先の林間田園駅を目指することにする。結果的には御幸辻駅から林間田園都市駅までを目指することにする。両者とも私の身近なところで関係し、世の中の縁に驚く。御幸辻は私の義父が「幸」というので関係性がある。また林間田園都市は、私が只今現在利用している鉄道が、「東急田園都市線の中央林間」で関係性が高い。17 時 47 分、特急こうやが私を追い越して行く。遊歩道を歩く。17 時 53 分、下

には国道があった。この国道を歩いていれば相当の遠回りとなろう。また路に迷うたかも知れない。ほっとする瞬間であった。林間田園都市駅には 18 時 10 分到着。駅舎は円形のイメージをした近代的な建物であった。18 時 16 分の急行で南海なんば駅に。運賃は 620 円だった。なんば駅から御堂筋線に乗り換え、西中島南方駅（運賃 230 円）で下車。19 時 20 分頃であった。何とか大河ドラマ（江）までには間にあいそうであった。途中、吉野家があるので夕食をすませる。コンビニで焼酎とつまみを購入しホテルに戻る。19 時 50 分であった。本日の営業キロは 14.3 km、万歩計は 35,718 歩だった。大河ドラマを見るや否やダウン。充実した一日であった。



第4節 3日目：9月12日（月）：林間田園都市～北野田 晴れ

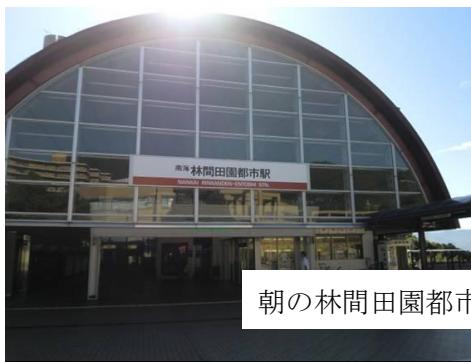
林間田園都市(9:11)～紀見峠(9:36)～天見(10:58)～千種口(?)～美加の台(12:13)～三日市場(12:48)～河内長野(13:51)～千代田(15:02)～滝谷(15:28)～金剛(16:01)～大阪狭山市(16:21)～狭山(16:58)～北野田(17:15)

本日も 4 時過ぎに目が覚める。ロビーに行き、パソコンで Ipod を充電する。新聞が本日は休刊日のため、ナンプレパズルを持参する。6 時前に部屋に戻り、本日の作戦と帰宅する準備をする。ホテルを 7 時半頃出て、新大阪駅に向う。前回利用したコインロッカー（No503 : 300 円）に荷物を預け、御堂筋線の新大阪駅に向う。運賃は 270 円であった。



東横イン中央口新館

南海なんば駅



朝の林間田園都市駅



線路に沿って歩く

南海なんば駅 8 時 19 分発の急行橋本行きに乗る。電車はがらがらであった。9 時 11 分に林間田園都市に到着。鉄道の左側を歩く。9 時 27 分、小さな鉄道したトンネルを潜り抜け、鉄道の右側を歩く。ここからも鉄道に沿った遊歩道が続いていた。9 時 30 分、和佳乃宮前を通過。



和佳乃宮



紀伊峠駅

9 時 36 分、1.3 km 先の紀伊峠駅に到着。下り電車がやって来る。紀伊峠駅から少し行った先に、圭うどんの看板の店や紀伊西靈場である宝形山地蔵寺があった。トンネルのため山道を通り、柱本の交差点（10 時 1 分）に出る。ここから国道 371 号を歩く。

10時3分、紀見トンネル（標高250m、長さ1,453m）の手前で河内長野市となる。私の万歩計で2,462歩を示す。トンネルの通過所要時間は約20分要する。トンネルを抜けると大阪府河内長野市の標識があった。気温計は28℃と表示されていた。トンネルには「橋本の柿味は日本一」とあった。いつの間にか鉄道が右手にあった。10時40分、立派な竹林前を通過。10時47分、島の谷交差点を通過。



10時58分、天見駅に到着。この駅は袋小路になっていた。ふもと甘味の茶屋があつた。立ち寄るかいなか迷うが、少し早いのでパスする。国道に面した出合ノ辻まで戻る。平成5年2月竣工した出合橋（29歩）を11時5分通過。11時15分、天見小学校前を通過。11時18分、下山橋を通過。12時7分、石仏南交差点を通過。進路を迷う。車が多い方向を選ぶ。



12時10分、石仏の交差点通過。12時13分、美加の台駅に到着。残念ながら千早口駅を通り過ぎていた。12時22分、石仏北交差点道路が分岐する。右の道路に進路変更する。12時42分、25歩ある新高野橋を渡る。12時48分、広々した駅広場をもつ三日市町駅に到着。



三日市だんじり祭の提灯

ここでも、三日市だんじり祭の提灯があった。13時12分、すき家（371号河内長野三日市店）に入る。そして、激辛ニンニク牛丼を注文する。美味しい牛丼であった。昨日の夜に引き続き2度目である。13時16分、80歩ある三日市新橋を渡る。少し曇り

空となるが、直ぐ晴れる。13時37分、ファミリーマートに立ち寄りアイス（もなか）を購入。熱くなった体を冷してくれた。13時47分、長野神社前を通過。13時51分、河内長野駅に到着。駅前には南都銀行があった。人の標識があった。広々とした駅前には長野商店街があった。商店街の前に次の表示があり。

京都・八幡へ 北東約 57km
堺・大小路へ 北西約 18km
高尾山・女人堂へ 南約 35km



河内長野駅からは南海と近鉄があり誤ると近鉄線に沿って歩く可能性があった。14時46分、南海電鉄を陸橋にて越える。すなわち鉄道の右側に出る。これが大きなミスにつながる。谷川遊歩道（14時19分）を暫く歩く。しかし、この歩道は南海線の大きくてずれる道であった。近くに近鉄線が見える。直ぐ誤り気づき進路変更する。14時45分、やっと軌道修正ができ南海電鉄千代田検車区前に来る。千代田駅には15時2分到着。



この駅でもだんじり祭のための提灯があった。近くにりそな銀行があった。ここから路なりに歩いた先に滝谷駅（15時28分）があった。15時35分、踏切を越え鉄道に左側となる、南海電鉄には踏切のネーミングがなかった。15時40分、富田林市という標識をデジカメに収める。15時50分、大阪市狭山市に入る。16時1分、金剛駅に到着。上りの快急が到着するところであった。16時7分、関進ゼミ前を通過。16時21分、大阪狭山駅に到着。



金剛駅



大阪狭山市駅



狭山駅

ここから狭山駅まで紆余曲折して進む。農地があり歩く道が鉄道に沿っておらず。16

時 27 分、青葉丘病院前を通過。数人の方に聞いてやっと 16 時 58 分に狭山駅に到着。路を聞いたところ「そんなのしるか」と応答もあった。これまで初めての経験であった。帰りの新幹線に乗る時間帯がそろそろ心配となる。当初、新大阪発を 19 時頃に予定していたが、この電車では難しい時間帯となる。急いで急行停車駅である北野田駅を目指す。狭山駅ではだめで、北野田までやっと 20km を越えるからである。また、狭山駅は急行が停車しないこともあった。



北野田駅

なんとか 17 時 15 分、北野田駅に到着。駅舎に大きな表示の「北野田駅」がなかった。偶然にも先日首相になった「野田佳彦氏」の関係性のある駅名で終了した。これでいい「北のだ」であった。駅前には堺市立東図書館があった。北野田駅でなんば行きは「各停 17 時 21 分」と「急行 17 時 29 分」があった。運賃はなんばまで 370 円だった。よくわからなかつたので、各停 17 時 21 分に乗ることにする。堺東で急行の待ち合わせがある。なんばで御堂筋線に乗り継いで、新大阪駅には 18 時 25 分頃到着。駅トイレで着替え、新大阪発 19 時 27 分の新幹線を予約する。発車時間まで 30 分強あったのでお土産を購入後、新幹線内のラーメン屋に立ち寄り夕食とする。中央林間から自宅まで歩いたこともあり、自宅には 23 時 5 分到着。本日の営業キロ 20.6 km、万歩計は 52,721 歩だった。



残暑で熱かったシリーズとなった。そのため濡れタオルを帽子の下にして熱さを凌いだ。今回のシリーズで南海鉄道の営業圏を理解することができた。大阪の地名が頭に入った。高野山の奥の深さを理解することができた。そして、私はまで1歩しか進んでいないことがしんみり理解できた。なんばまで踏破できなかつたが、首相の同じ名の北野田駅まで歩き大いに充実したシリーズとなった。